じっきょう情報

電験三種徹底解説シリーズのご案内

このたび新刊発行いたしました「電験三種徹底解説シリーズ」は豊富な例題とていねいな解説が特徴です。

特徴

①内容の解説にはイラストや図を多用

②公式や用語は「語呂合わせ」で暗記

③到達度確認ができる豊富な章末問題

[第三種電気主任技術者]

電気事業法により，事業用電気工作物の設置者（所有者）には「電気主任技術者」の選任が義務づけられていますが，電力の需要が増大している中，第三種電気主任技術者の資格を取得することは，電力や電気工事関係への就職にも有利といわれています。

[受験案内]

（1）試験方法と試験内容

試験は筆記のみで面接はありません。試験科目は，次の4科目で，解答方法は，マークシートに記入する五肢選択方式で行われます。

第三種電気主任技術者試験は，性別・年齢・学歴等に関係なく誰でも受験することができます。試験日は例年8月下旬。

試験内容と科目の内容

科目名	科目の内容
理論	電気理論，電子理論，電気計測，電子計測
電力	発電，変電，送電，配電，電気材料
機械	電気機器，パワーエレクトロニクス，電動機応用，照明，電熱，電気化学，電気加工，自動制御，メカトロニクス，情報伝送・処理
法規	電気法規(保安に関するものに限る)，電気施設管理

（2）科目別合格制度（科目合格留保制度）

試験結果は，科目別に合否が決定され，4科目すべてに合格すれば第三種電気主任技術者試験合格となります。一部の科目だけ合格した場合は，科目合格となり，翌年度と翌々年度は合格した科目の試験が免除されます(3年間で4科目合格すればよい)。表は科目別合格制度の一例です。

受験年	受験科目	試験結果
1年目	4科目すべてを受験	「理論」と「電力」が合格
2年目	「機械」と「法規」を受験	「機械」が合格
3年目	「法規」を受験	「法規」が合格、第三種合格
4年目	もし，3年目に「法規」が不合格になった場合，1年目に合格した「理論」と「電力」は失効となるので，4年目は「理論」,「電力」,「法規」の3科目を受験することになる。「機械」の留保は本年度まで有効となる。	

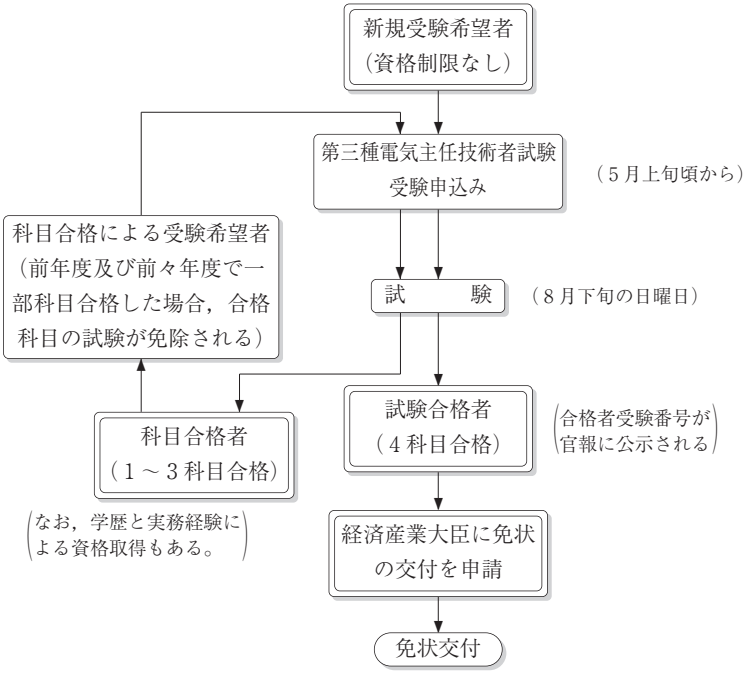
（3）使用できる電卓

①電池内蔵型（太陽電池内蔵型を含む）のポケット型（折り畳み式のものは除く）であること。

②四則演算（＋－×÷），開平計算（√），百分率計算（%），符号変換，数値メモリの機能の全部又は一部があるもの。

③関数電卓は使用禁止

（4）資格の取得フロー

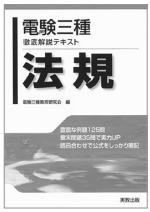


（財）電気技術者試験センター
http://www.shiken.or.jp

電験三種教育研究会　編

電験三種徹底解説テキスト

豊富な例題・ていねいな解説



理論
A5判344ページ2520円

機械
A5判400ページ2940円

電力
A5判352ページ2730円

法規
A5判248ページ2415円

工業教育資料　通巻第293号
（1月号）定価210円（本体200円）
2004年1月5日　印刷
2004年1月10日　発行
印刷所　株式会社伸樹社

© 編修発行　実教出版株式会社
代表者　本郷　充
〒102-8377　東京都千代田区五番町5番地
電話　03－3238－7777
http://www.jikkyo.co.jp/